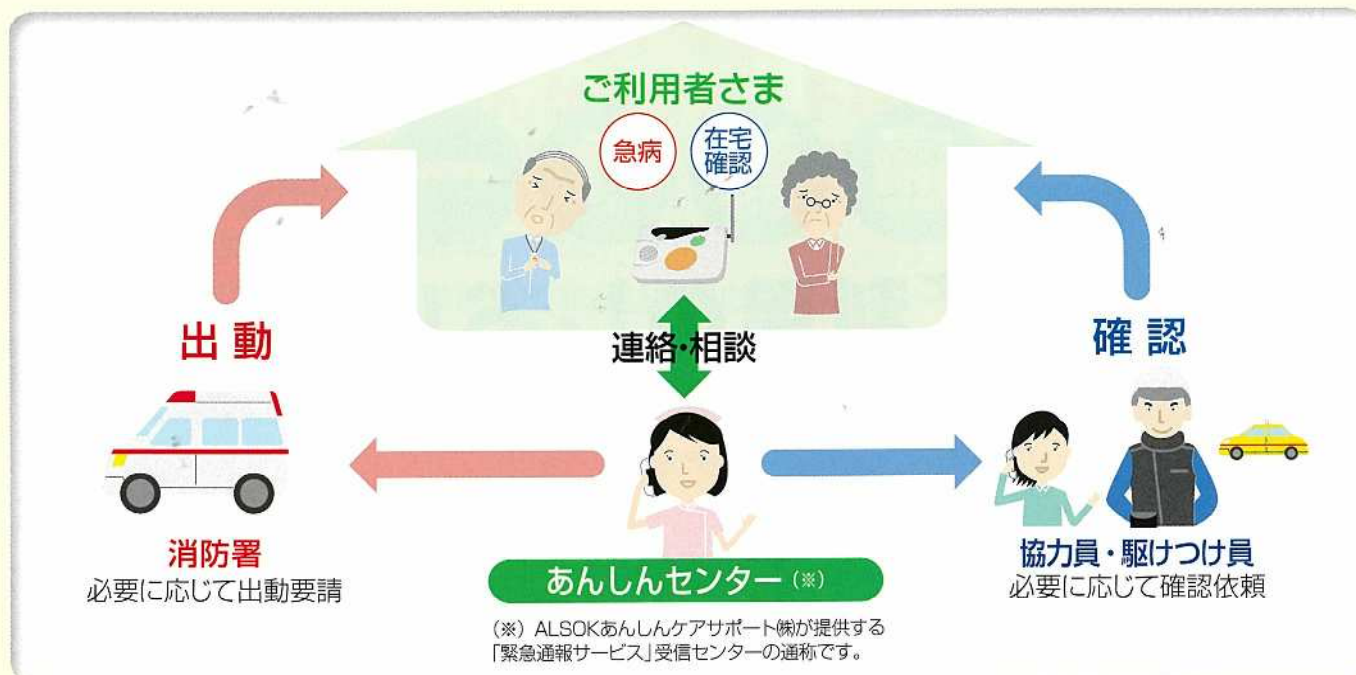


緊急通報サービスのしくみ



緊急事態

救急車などの出動要請を行います。その際、消防署にご利用さまの既往症・症状などを連絡します。

健康・介護に関するご相談

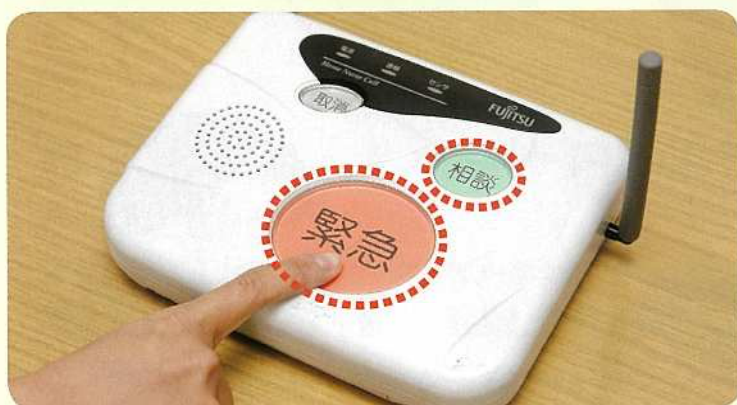
看護師が24時間365日お受けしてアドバイスをいたします。

ご連絡・駆けつけ

協力員の方や親族の方にご連絡・駆けつけ依頼をすることもできます。

緊急通報装置ご利用にあたって

● 通報装置の使い方



あんしんセンターに連絡したいとき

どのボタンを押しても同じところにつながります。「緊急ボタン」「相談ボタン」「ペンダントボタン」は気にせず押してください。当社のオペレータが皆さまの通報をお待ちしています。



間違えて押してしまったとき

あんしんセンターにつながりますので「間違えました」と声をかけてください。

民生委員・児童委員・協力員の皆さまへ

緊急通報装置を設置されているご利用者さまに対して、
近隣の親族・協力員・民生委員・児童委員の方々に、
つぎの4項目の対応をお願いすることがあります（地域によって異なります）。

1

ご利用者さまから通報が入って、緊急事態と判断し救急車を要請したときに、ご利用者さまを励ましていただいたり、救急車の誘導をお願いすることがあります。

2

ご利用者さまから通報が入って応答がないときは、室内で倒れて意識不明の状況ということも予想されます。このような場合、現場確認をお願いすることがあります。あるいは応答があり救急車の出動要請は必要ないが、はっきりとした状況がわからないときに様子を見に行っていただくことをお願いしております。

3

定期的にあんしんセンターからご利用者さまへお伺いコールをかけていますが、何回電話してもつながらないことがあります。その場合、ご利用者さまの状況をお伺いしたり、ご利用者さまのお宅を訪問して確認をお願いすることがあります。



4

ご利用者さま宅を訪問されたときは、ペンダントがどこにあるかを確認いただき、いつもペンダントをお持ちいただくようお願いしてください。また、訪問した際は試し押しをしていただき、いつでも気軽に通報できることをお伝えください。

